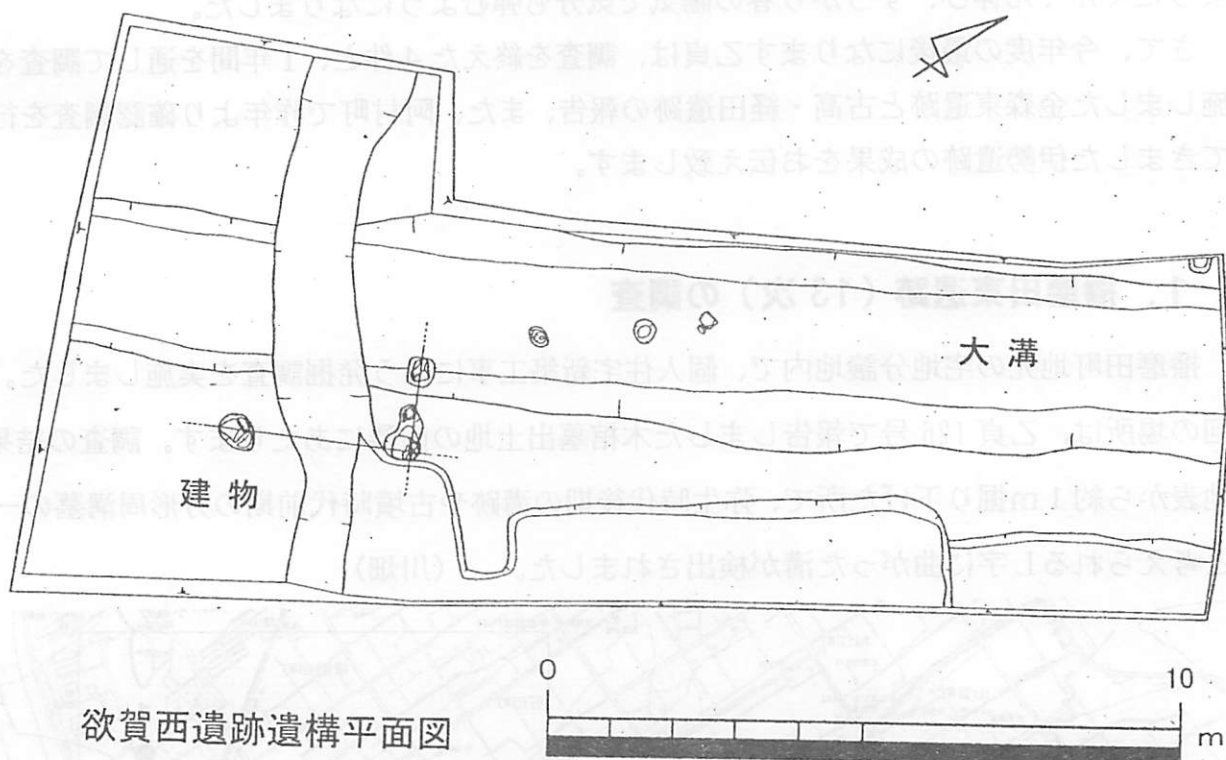


2. 欲賀西遺跡（2次）の調査

森川原町字村之内において、住宅用地の造成工事に先立ち発掘調査を実施しました。その結果、幅約3m、深さ70cmの大溝を検出し、14世紀代の土師器皿や黒色土器碗を中心とした多量の土器と瓦が出土しました。大溝は屋敷地周りの堀のような性格が考えられ、北側に中世の集落跡が広がっていることがわかりました。また、この溝を切る柱穴も検出しました。柱穴の中には面取りをした礎石が残存するものもあり、溝が埋まった後、礎石建ちの建物が存在した可能性が考えられます。（小島）



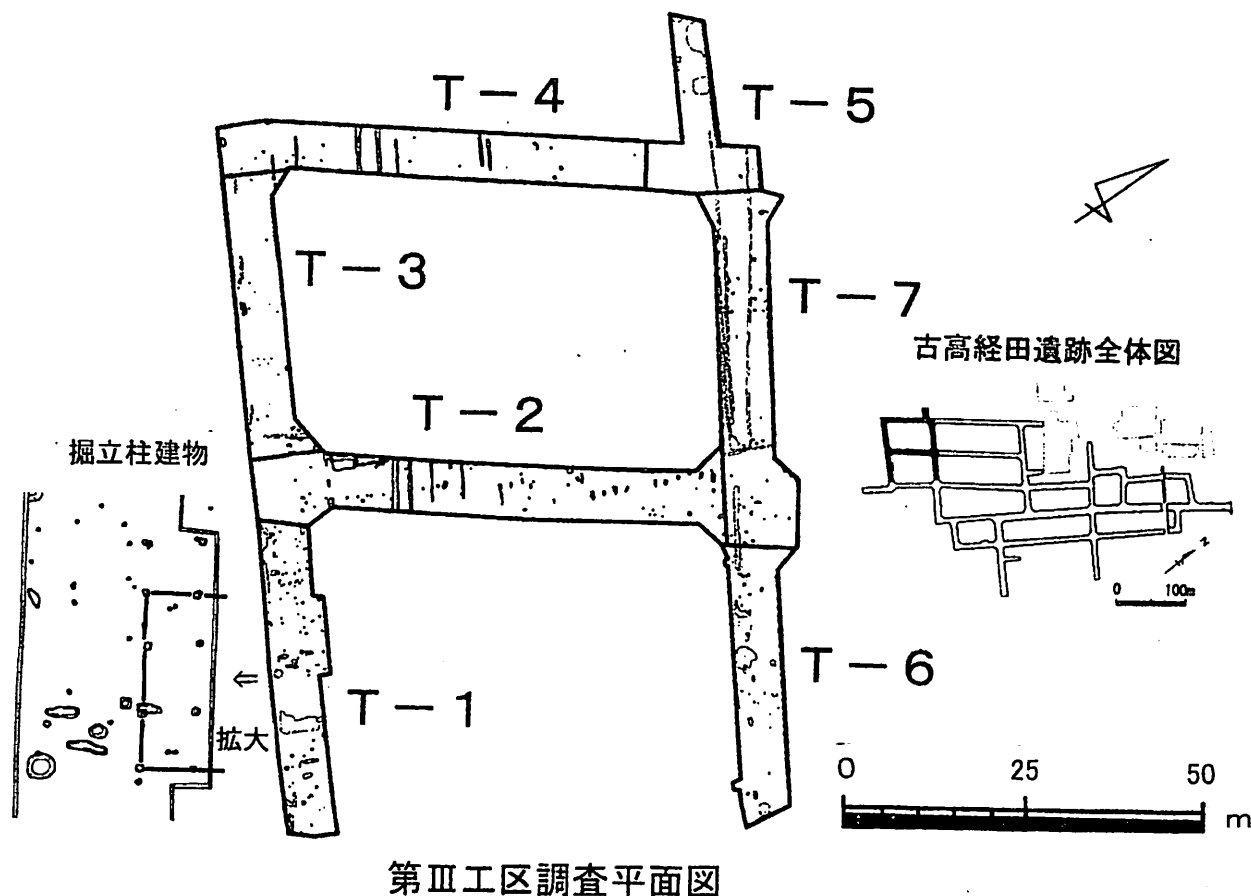
欲賀西遺跡遺構平面図

3. 古高・経田遺跡の調査

昨年の12月から第Ⅲ工区の調査に入っています。耕作土の下を約20cm掘り下げた浅い位置から中世以降の溝、土坑、ピットなどの遺構を検出しています。また、T-1では掘立柱建物跡が1棟見つかっています。建物全体の大きさは不明ですが、遺物から第Ⅰ工区の西で集中して確認している平安時代後期の掘立柱建物群（7棟）の一部と思われます。

今回調査している場所では、調査地全体、ほぼ同じような間隔で風倒木の跡が見つっています。古墳時代以前の遺構や遺物が全く見られないことを考えると、このあたりはしばらく集落域から外れた雑木林のような場所だったのかもしれません。

現在、センターでは出土した石器類を中心に速報展示を行っていますので、是非一度ご覧下さい。（森山）



4. 金森東遺跡（30 次）の調査

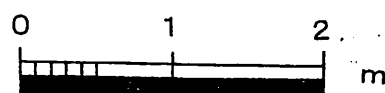
第Ⅱ工区の T-17 は、昭和に入ってから開発で、遺跡の一部が壊された状態でしたが、前回報告しました弥生時代後期末～古墳時代前期の旧河道と、平成 12 年度調査の奈良時代の旧河道の続きが見つかりました。

奈良時代の旧河道からは、「田邊」と文字が書かれた墨書土器が出土しており、この頃金森東遺跡で集落を営んだ人々が文字を使用していた可能性が考えられます。

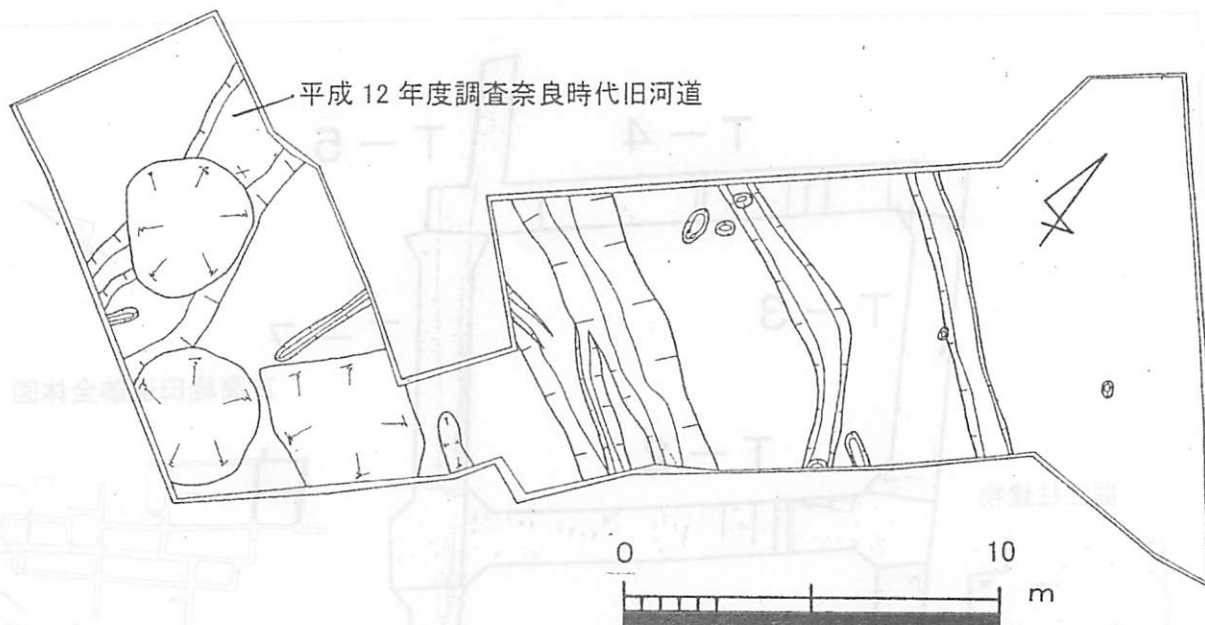
今後、これらの人々の暮らしぶりなどを検討していきたいと思います。

第Ⅱ工区の調査も今年度をもって終了しました。次回の乙貞では、年末に調査しました第Ⅰ工区の出土遺物を中心にまとめたいと思います。

（大岡）



出土した墨書土器



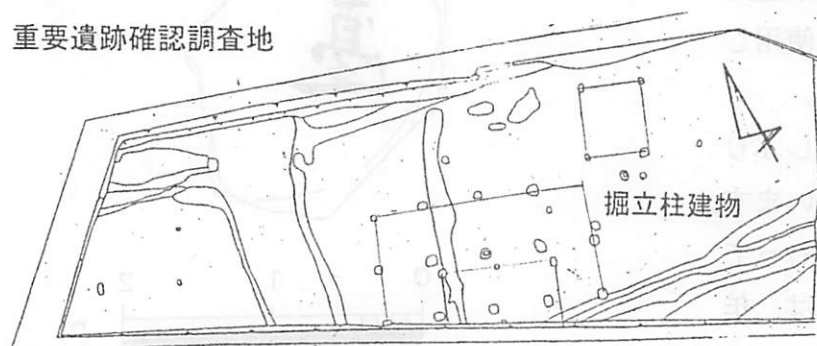
金森東遺跡 第Ⅱ工区 T-17 調査区遺構平面図

5. 伊勢遺跡 (82 次) の調査

伊勢町字井上で共同住宅新築工事に先立つ調査と、その駐車場になる場所で重要遺跡確認調査を実施しました。共同住宅部分では、古墳時代前期の方形周溝墓 1 基、古墳時代の溝 3 条、ピットを検出しました。方形周溝墓は一部見つかったのですが、隣接地で平成 3 年と 7 年でもこの続きが見つかっていて、図面をつなぎ合わせた結果、今回の調査により台状部で東西 12m、南北 11m を測る規模とわかりました。3 条の溝は調査区の西端で切りあっており、このうち方形周溝墓に切られる溝 1 は、屈折して確認調査の方へ続くことがわかり、区画溝と考えられます。

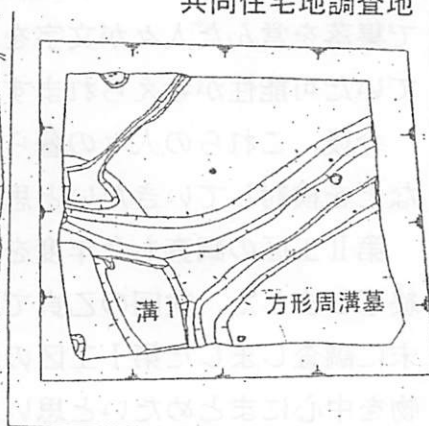
確認調査では、溝 1 のほかに南壁から北に向って重複しながらのびる溝 2 条と、掘立柱建物 3 棟などを検出しました。掘立柱建物は 4 間×3 間以上、2 間×2 間以上の総柱建物で、方位は北から約 25° 東へ振っています。時期は平面調査のためよくわかりませんが、検出時点で土師器片が出土しており、平安時代以降と思われます。(畑本)

重要遺跡確認調査地



伊勢遺跡遺構平面図

共同住宅地調査地



6. 伊勢遺跡⁸⁰（79次）の調査

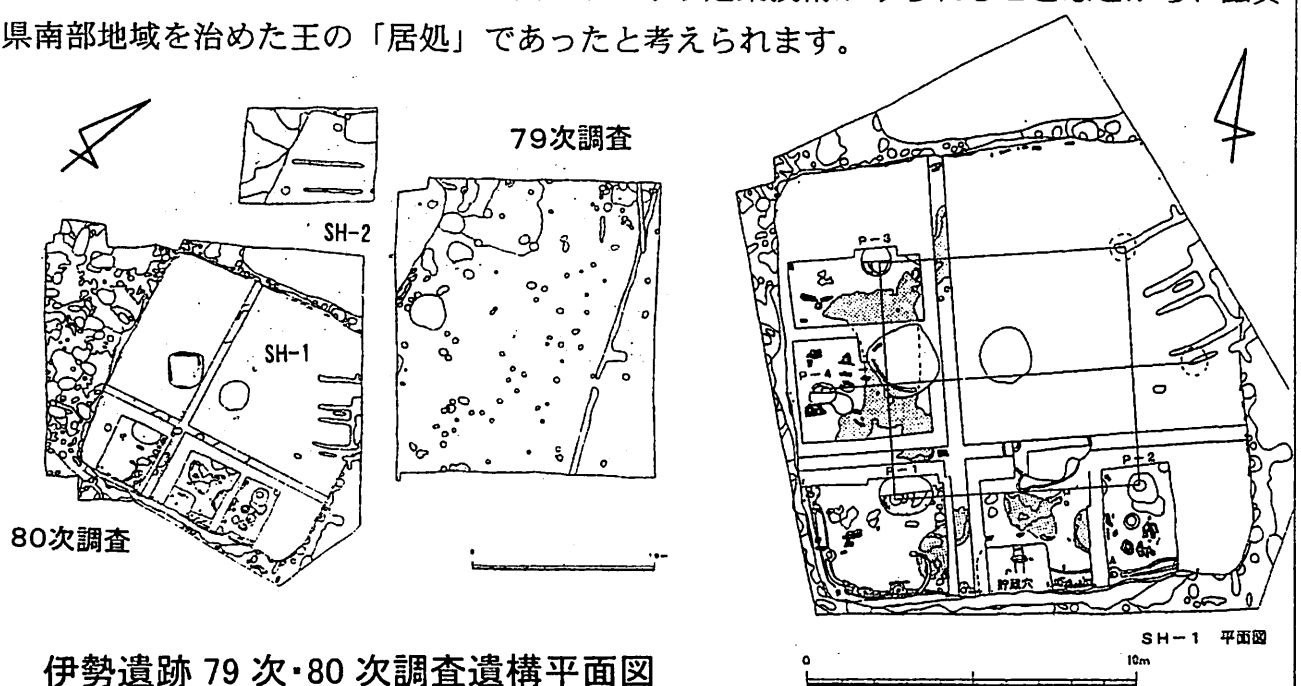
大型竪穴建物SH-1の北コーナーと、SH-2の東辺および北隅が検出され、二つの竪穴の規模が確定しました。このほか、多数の土坑、柱穴等と南北方向にのびる区画溝を検出しました。区画溝は竪穴建物の周りを区画する施設の一部と思われます。（伴野）

7. 伊勢遺跡⁸¹（80次）の調査

一昨年、阿村町で発見された大型竪穴建物を、昨年9月より再調査を行いました。今回は掘削面積を広げ、竪穴建物の構造や性格について明らかにするため実施しました。

大型竪穴建物SH-1は、平面で一辺13.6mの正方形で、床面積185㎡を測る国内最大規模の竪穴とわかりました。内部調査では主柱穴は4本と考えられ、そのうち、3本を検出しました。さらに壁近くで棟持柱が検出され、特異な上屋構造を持つ建物であると推定されました。壁際には周壁溝が巡り、1.9m間隔で壁柱が配置されているほか、針葉樹の縦板材が並んでいたと考えられます。一昨年発見されたレンガ状の焼物は、板材の裏込めに利用されていたことがわかりました。床は約30cmの良質なシルトを全体に敷き、その上にさらに精良な粘土を7cmほど貼り、赤色に焼かれていました。焼き床は国内にも例をみないものですが、朝鮮半島の近年の調査では、紀元前3世紀から紀元2世紀頃の竪穴住居で意図的に焼かれた床を持つ例が報告されており、東アジアの建築技術の流れの中で位置づけされるものと考えられます。

住居内から出土した遺物は生活に使用された土器であることから、この建物が居住用であったと考えられます。規模が大きいだけでなく、床や壁など目に見えないところまで丁寧につくられていること、半島との関わりを示す建築技術がみられることなどから、滋賀県南部地域を治めた王の「居処」であったと考えられます。



平成 14 年度 発掘調査 一覧表

(重)重要遺跡確認調査

	遺 跡 名	調 査 地	調 査 期 間	調査面積/開発面積	調 査 原 因	種別	担当	乙貞掲載号
1	伊 勢 遺 跡 77次	伊勢町 字 南代	7/29～8/2	150/446	(重) 共同住宅	確認	伴野	
2	伊 勢 遺 跡 78次	阿村町 字 南東下	7/20～8/3	150/2,023	(重) 共同住宅	確認	伴野	124
3	伊 勢 遺 跡 79次	伊勢町 字	9/17～11/15	500/500	(重) 確認調査	確認	伴野	127
4	伊 勢 遺 跡 80次	伊勢町 字	10/1～3/15	400/968	(重) 確認調査	確認	伴野	127
5	伊 勢 遺 跡 81次	伊勢町 字 大將軍	11/11～11/14	410/410	(重) 個人住宅	確認	伴野	
6	伊 勢 遺 跡 82次	伊勢町 字 森ヶ下	11/18～12/6	200/1,336	宅地造成	調査	小島	126
7	伊 勢 遺 跡 83次	伊勢町 字 井上	2/12～3/7	390/390	(重) 共同住宅	確認	畑本	127
8	伊 勢 遺 跡 84次	伊勢町 字 南代	7/9～7/13	723/723	事務所	確認	伴野	
9	伊 勢 遺 跡 85次	伊勢町 字 南代	2/28	885/885	(重) 分譲住宅	確認	伴野	
10	伊 勢 遺 跡 86次	伊勢町 字 南代	3/12～3/13	835/835	(重) 共同住宅	確認	伴野	
11	伊 勢 遺 跡 87次	伊勢町 字 南代	3/18～3/19	666/666	(重) ペットマンション	確認	伴野	
12	寺 中 遺 跡	矢島町 字 東出	4/23～4/24	137/137	個人住宅	調査	小島	
13	金森西遺跡	三宅町 字 市ノ町	5/30	20/453	個人住宅	調査	畑本	
14	八ノ坪遺跡	播磨田町 字 寺ノ内	5/20～5/21	157/157	個人住宅	調査	川畑	123
15	八ノ坪遺跡	播磨田町 字 寺ノ内	10/1	63/63	農業用倉庫	調査	川畑	
16	八ノ坪遺跡	播磨田町 字 京法花寺	8/20	91/211	個人住宅	調査	小島	
17	布施野城遺跡	播磨田町 字 伏野	7/8～7/9	10/372	個人住宅	調査	川畑	124
18	欲賀南遺跡 5 次	欲賀町 字 東出	10/29～10/30	95/95	個人住宅	調査	川畑	126
19	欲賀西遺跡	森川原町 字 村之内	2/10～2/19	120/415	個人住宅	調査	小島	127
20	播磨田東遺跡 11次	播磨田町 字 堂前	8/8～9/20	680/2,895	宅地造成	調査	川畑	125
21	播磨田東遺跡 12次	播磨田町 字 宮部	8/21～10/18	1,000/5,174	宅地造成	調査	小島	124～126
22	播磨田東遺跡 13次	播磨田町 字 宮部	2/24～2/25	100/154	個人住宅	調査	川畑	127
23	播磨田西遺跡	播磨田町 字 大崎	11/27～11/29	32/196	個人住宅	調査	小島	126
24	下之郷遺跡 51次	下之郷町 字 皆広	11/5～11/9	174/174	個人住宅	調査	川畑	126
25	赤野井遺跡	赤野井町 字 番場	9/11	63/63	個人住宅	調査	小島	
26	石田三宅遺跡	石田町 字 横田	5/21～8/2	3,000/6,459	配水池・管理棟	調査	小島	123・124
27	下 長 遺 跡 19次	古高町 字 押事	6/17～7/30	400/2,763	宅地造成	調査	畑本	123・124
28	金森東遺跡 30次	金森町 字 大宮上	5/13～3/20	7500	区画整理	調査	大岡	122～127
29	古高・経田遺跡	今宿町 字	5/9～3/20	/	区画整理	調査	森山	122～127
30	二町鏡遺跡 17次	二町町 字 下北代	5/7～6/7	200/4,666	宅地造成	調査	伴野	123
31	堂ノ北原遺跡 5 次	吉身三丁目 字 門口	5/7～5/29	300/3,791	宅地造成	調査	畑本	123
32	古 高 城 遺 跡 10次	古高町 字 小辻	11/20～12/11	270/4,171	宅地造成	調査	畑本	126
33	酒 寺 遺 跡 53次	播磨田町 字 シノ	11/15～11/12	60/998	宅地造成	調査	川畑	126
34	奥 殿 遺 跡	吉身二丁目 字 奥殿	9/11～9/20	100/2,385	宅地造成	調査	小島	125
35	済 淵 遺 跡	三宅町 字 済淵	9/17～10/11	500/2,069	老人福祉施設	調査	畑本	125

上記の表には平成 14 年度の重要遺跡確認調査 10 件と発掘調査の 25 件を掲載しましたが、この他に個人住宅新築工事や開発に伴う試掘を 33 件、工事で遺構に影響を及ぼさない事の確認のため 23 件の立会調査を実施しました。さらに、遺跡内での開発行為に伴い慎重工事 190 件を指示しました。これらはほぼ前年並みの件数となります。

【後記】 無事、6 回目の乙貞をお届けすることができました。今年度も伊勢遺跡や播磨田東遺跡など、たくさん報告できたと思います。15 年度も調査が多くなりそうで、成果が期待できそうです。 (H a)